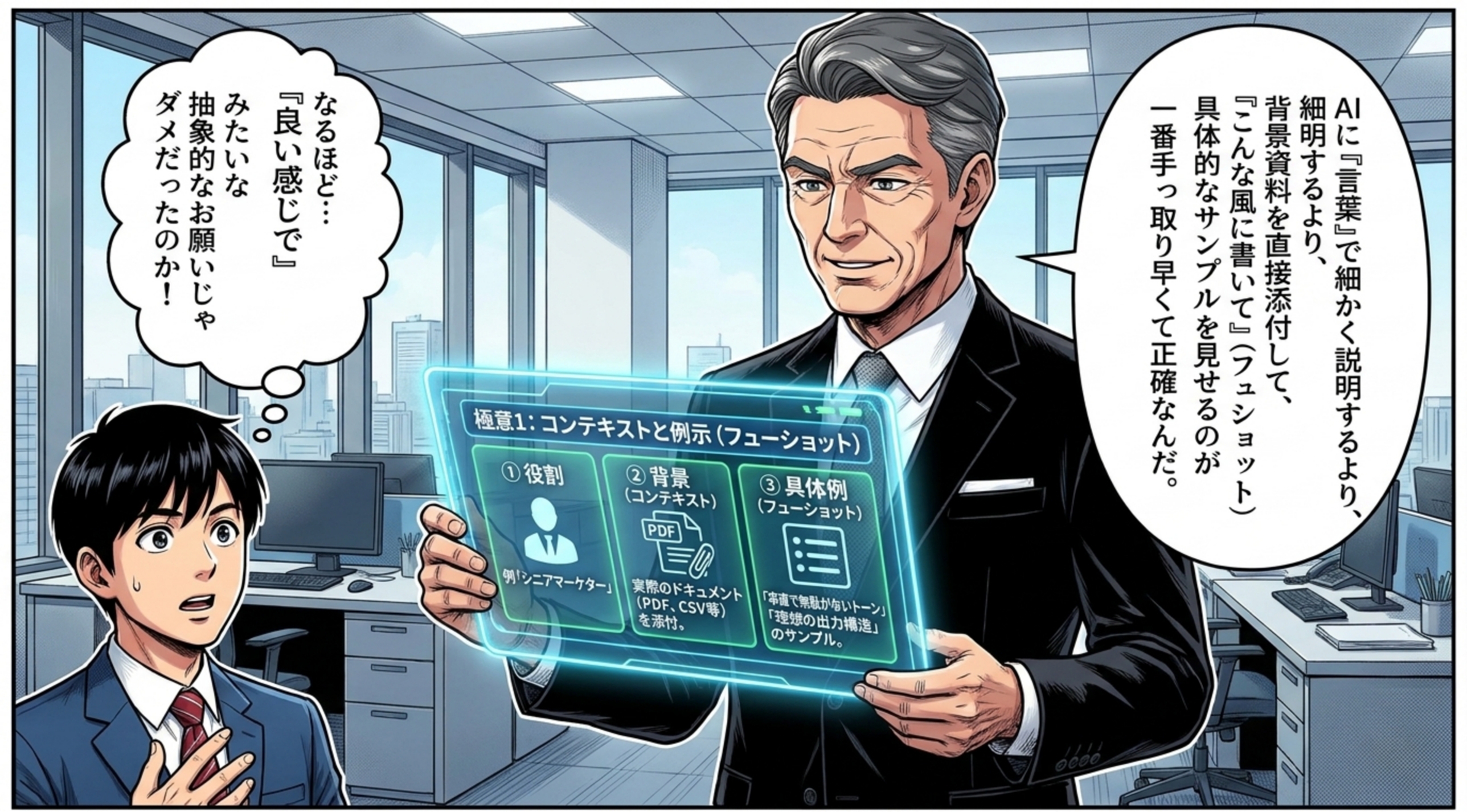

Claudeの回答精度が激変する!
プロンプトの極意
新連載!
～「思ったような答えがこない」を解決する3つの魔法～
「AIに振り回されるのは、もう終わりにしよう。」
Claudeの回答精度が激変!
プロンプトの極意



Claudeを使い始めた多くの人が陥る「思ったような回答がこない」という壁。
その原因は「指示の出し方」にありました。

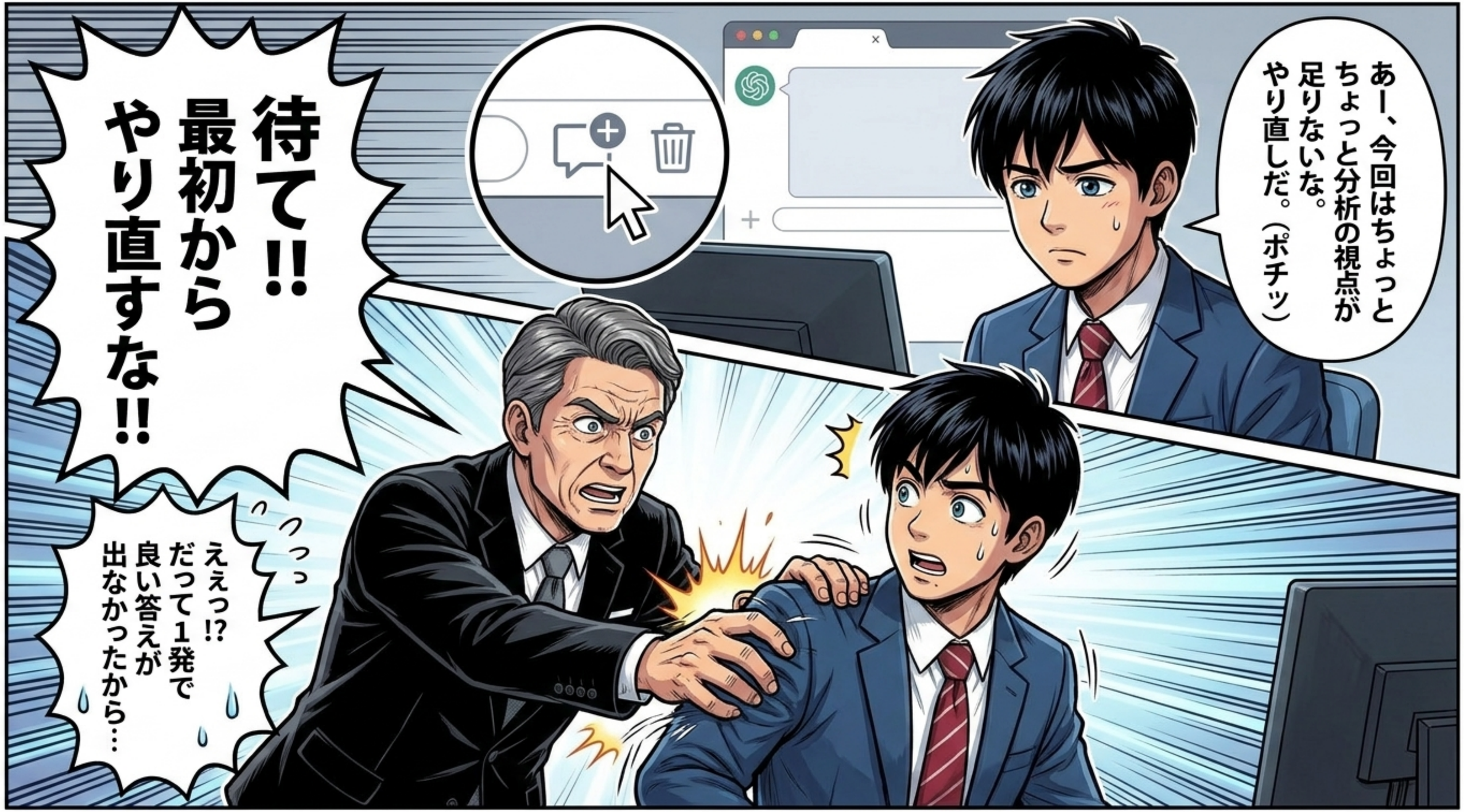

役割（ペルソナ）だけ与えて、満足していないか？
ビクッ！
ビクッ！課長！
『PMとして考えて』だけでは、AIには君のプロジェクトの状況は状況は何も見えない。背景となる一次情報（コンテキスト）一般的な答えしか出せないんだ。
AI
NG
あなたはPMです
AI
OK
あなたはPMです＋Q2ロードマップ顧客メモ


AIに『言葉』で細かく説明するより、
細明するより、
背景資料を直接添付して、
『こんな風に書いて』（フュショット）
具体的なサンプルを見せるのが
一番手っ取り早くて正確なんだ。
なるほど…
『良い感じで』
みたいな
抽象的なお願いじゃ
ダメだったのか！
極意1：コンテキストと例示（フューショット）
① 役割
例「シニアマーケター」
② 背景
（コンテキスト）
PDF
実際のドキュメント
（PDF、CSV等）
を添付。
③ 具体例
（フューショット）
「率直で無駄が無いトーン」
「理想の出力構造」
のサンプル。


・役割：B2B SaaSのシニアマーケター
・背景：[新機能仕様書.pdf]添付、
顧客の課題(週2時間の作業)
・トーン：率直で無駄がない
・サンプル：[件名]+[課題への共感]+[解決策]
AIの理解度＝
文脈を完璧に把握。
出力＝ブランドボイスに
合致し、即実務で使える品質。


新製品の案内メール文を作成して
ください
AIの理解度＝ターゲット不明。
出力＝そのまま実務で
使えない抽象的な草案。

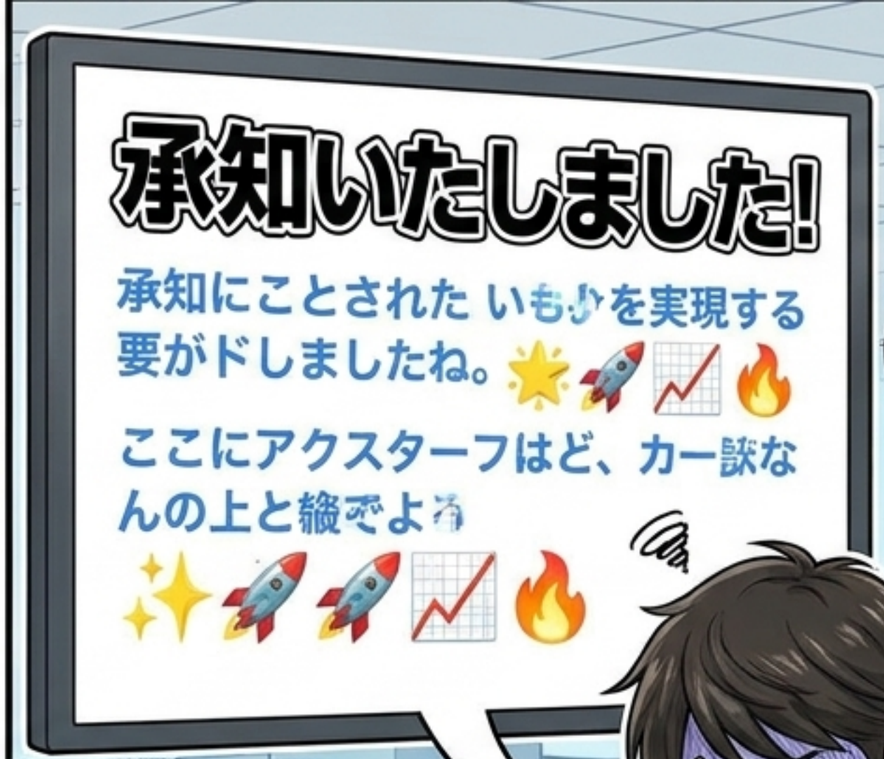

うおおおっ!!
僕が送ったインタビューメモの
数値をしっかり引用して、
指定したトーン通りの
完璧なメールが
できあがってきた!!
資料を添付して、トーンと構成の
具体例を入れて…送信!
PDF
＋ ファイル添付
僕が送った!!
インタビューメモの
完璧なメールが
できさあがってきた!!
ふふ、これが
『コンテキストの力』だ。


あー、今回はちょっとちょっと分析の視点が足りないな。やり直しだ。（ポチッ）
待て!!
最初から
やり直すな!!
ええっ!?
だって1発で
良い答えが
出なかったから…



実践テクニック：「A案を選んだ推論プロセスを教えて」「他の3つの切り口も提示して」と問い詰めることで、より深い議論が可能に。

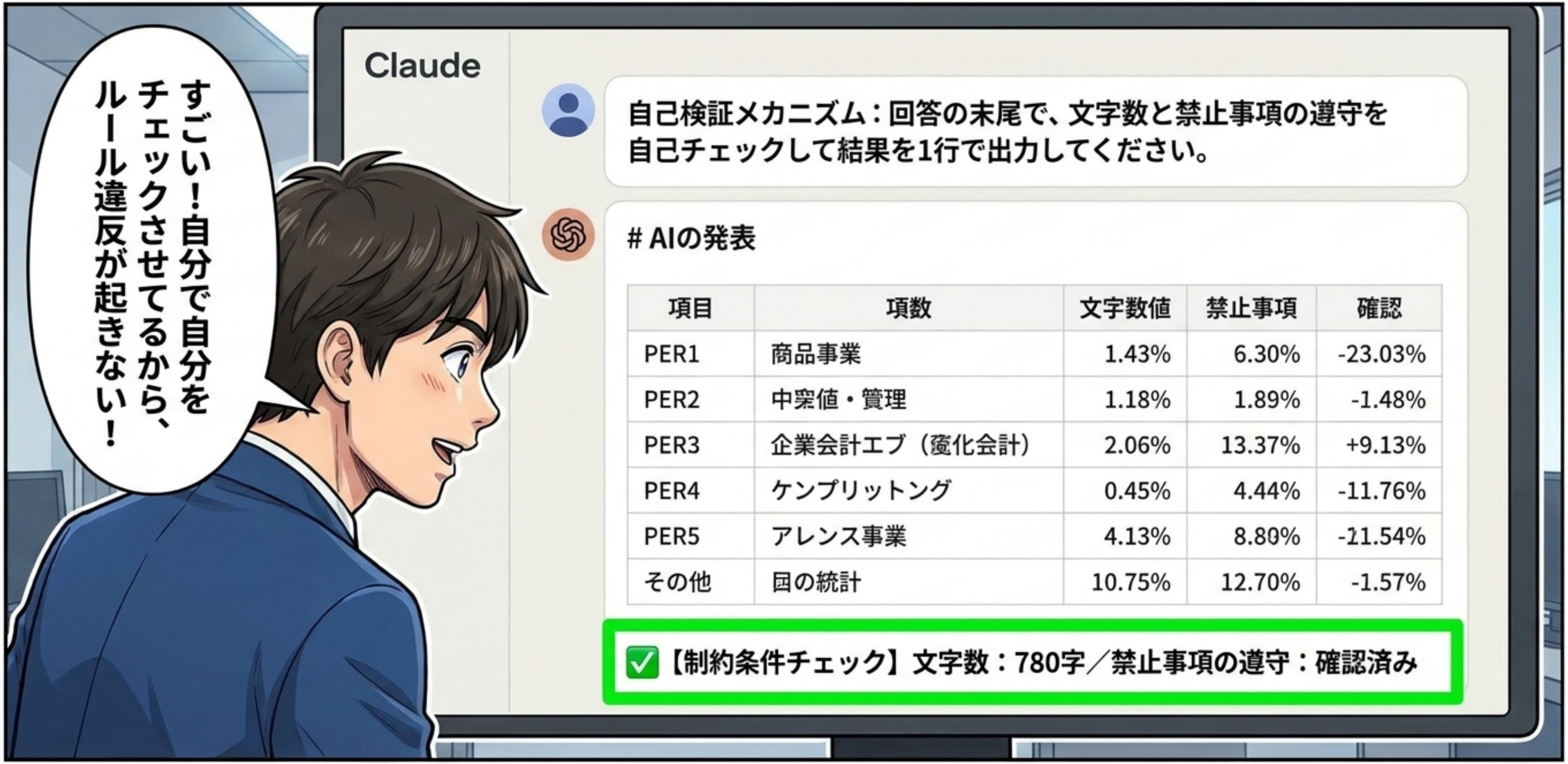
うわっ…表形式で頼んだのに、絵文字だらけだし『承知いたしました！』って前置きが長くてウザい…



やってほしいことだけでなく、【やってほしくないこと（禁止事項）】も明確にするんだ。短く検証可能な指示は、AIを正確にコントロールできる。

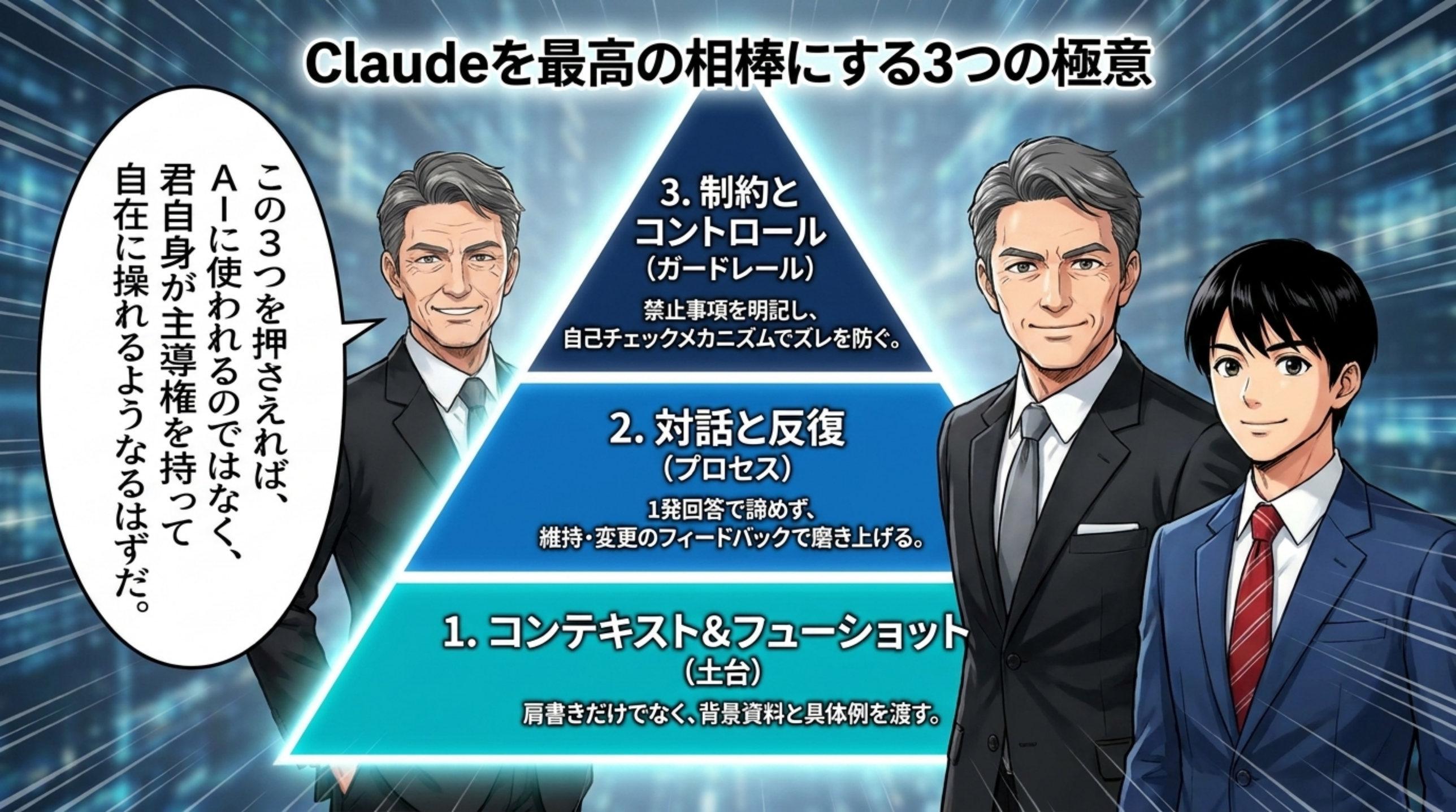
ネガティブプロンプトの例

- 「承知いたしました」等の前置きは一切出力しない
- 絵文字、派手な装飾、ありきたりな企業ブルーは避ける



さらに複雑なタスクは、一気に指示せず「まずはPERを計算して、次に行く前に結果を見せて」と**チェックポイント方式（段階的アプローチ）**で進めるのが鉄則。

Claudeを最高の相棒にする3つの極意



🎁 読者プレゼント：今すぐ試せる 3分アクション・テンプレート

私の代わりに、[取引先への打ち合わせ日程調整メール]を作成してください。

- 役割：[丁寧で仕事が早いプロジェクトマネージャー]
- 背景：[先日の商談のお礼と、来週の追加ヒアリングの打診]
- トーン：[温かくプロフェッショナルで、負担を感じさせない]
- 形式：件名と本文を明確に分けた形式
- 禁止事項：[大げさな挨拶や二重敬語は避ける。「承知いたしました」等の前置きは不要]

このテンプレートの [ ] 内を書き換えて、さっそく試してみましょう！

